

第6章 労働組合

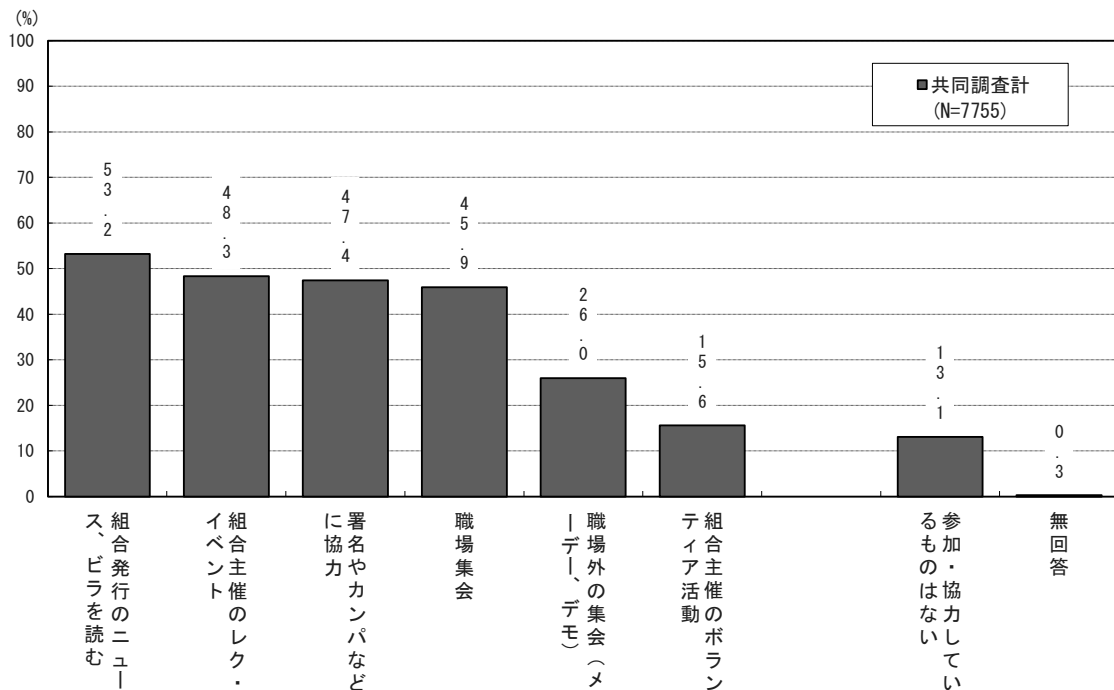
若者たちは、労働組合にどの程度コミットし、これからの労働組合の活動について、どのように考えているのか。

本章では、若年層の労働組合への参加状況、労働組合活動への共感度とともに、労働組合への距離感、そして、若者たちが考えるこれからの労働組合活動についてみることにする。また、回答者の半数近くが執行委員や職場委員などの経験者である。そこで、組合役員経験別に、労働組合への参加や労働組合に対する考え方にどの程度の違いがあるのかについても確認する。

1. この1年間に参加・協力した労働組合の活動

この1年間に参加・協力した労働組合の活動（複数選択）は、「組合発行のニュース、ビラなどを読んでいる」が53.2%と最も多いが、「組合主催のレクリエーション・イベントに参加した」（48.3%）、「署名やカンパなどに協力した」（47.4%）、「職場集会に参加した」（45.9%）にも半数近くが参加・協力している。それ以外では「職場外の集会（メーデー、デモ）などに参加した」（26.0%）が2割台半ば、「組合主催のボランティア活動に参加した」（15.6%）が1割台半ばである。なお、「参加・協力しているものはない」（13.1%）も1割強を占める（第6-1図）。

第6-1図 この1年間に参加・協力した労働組合の活動（複数選択）



「組合発行のニュース、ビラを読む」と「組合主催のレク・イベント」は男女ともに5割前後が参加・協力しているが、「職場外の集会（メーデー、デモ）」や「職場集会」「組合主催のボランティア活動」は男性に比べて女性で参加・協力が少ない（第6－1表）。

年齢別にみると、男女ともに年齢層が高くなるにつれて参加比率が高くなる活動が多くなっている。

組合役員の経験がない層では、「参加・協力しているものはない」が2割を占め、参加・協力した活動の比率が全体的に低い。

第6－1表 この1年間に参加・協力した労働組合の活動（複数選択）

		職場外の集会（メーデー、デモ）	組合主催のレク・イベント	組合主催のボランティア活動	職場集会	協名やカンパなどに	組合発行のニュース、ビラを読む	も参加・協力しているものはない	無回答	件数
	共同調査計	26.0	48.3 ②	15.6	45.9	47.4 ③	53.2 ①	13.1	0.3	7755
	男性計	28.2	48.4 ②	17.6	47.3 ③	47.1	53.0 ①	12.6	0.4	5561
年齢別	24歳以下	22.3	46.9 ①	12.5	31.5	32.0 ③	36.0 ②	19.3	0.3	966
	25～29歳	23.9	48.4 ②	17.0	44.7	45.2 ③	51.2 ①	11.9	0.4	2155
	30歳以上	34.3	49.1	20.2	55.9 ②	54.8 ③	61.2 ①	10.6	0.5	2440
	女性計	20.3 ②	48.2 ②	10.3	42.2	48.2 ②	53.9 ①	14.0	0.1	2136
年齢別	24歳以下	15.4	48.2 ①	9.6	34.3	37.1 ③	45.2 ②	16.1	0.2	533
	25～29歳	20.7 ③	51.1 ③	10.8	45.8	51.7 ②	54.6 ①	12.0	0.1	975
	30歳以上	23.7 ③	43.8 ③	10.2	43.3	52.2 ②	60.4 ①	15.3	...	628
役員経験	経験なし	13.8 ②	35.8 ②	6.6	32.4	35.6 ③	41.7 ①	20.9	0.4	4244
	現在、本部・支部の執行委員	58.8 ①	80.3 ①	40.8	70.9 ③	69.8 ②	75.5 ②	1.3	0.3	1456
	現在、職場委員、支部委員など	31.3 ③	59.1 ③	19.5	61.1 ②	55.9 ②	62.5 ①	3.0	0.2	1326
	過去に経験あり	21.3	37.6	10.4	46.9 ③	56.5 ②	58.9 ①	9.3	0.1	718

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上少ない

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上多い

15.0 「共同調査計」より15ポイント以上多い

※丸数字は比率の順位（第3位まで表示）

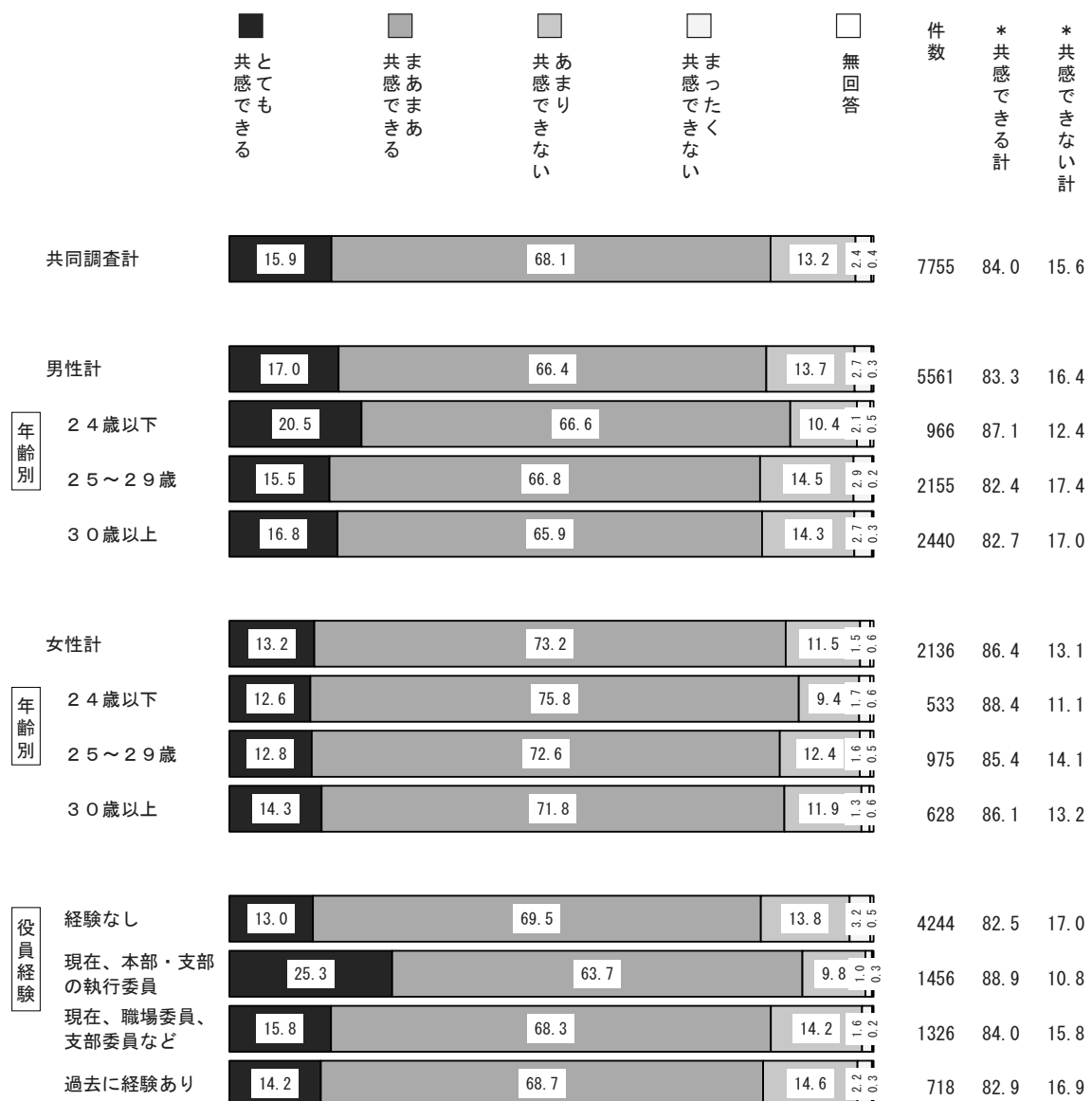
2. 労働組合活動に対する共感

労働組合の活動に共感できるかたずねたところ、「とても共感できる」は15.9%と1割台にとどまるものの、「まあまあ共感できる」(68.1%)が7割近くを占め、これらをあわせた＜共感できる＞(84.0%)は8割以上に及んでいる。一方の＜共感できない＞(「あまり」＋「まったく」)は15.6%である(第6-2図)。

性別年齢別にみると、24歳以下の男性で＜共感できる＞がやや多い程度で、大きな違いはみられない。

組合役員経験別にみると、現在、本部・支部の執行委員で「とても共感できる」が25.3%と際立ち、＜共感できる＞も9割近くと多いが、経験なし層でも同割合は8割強を占める。

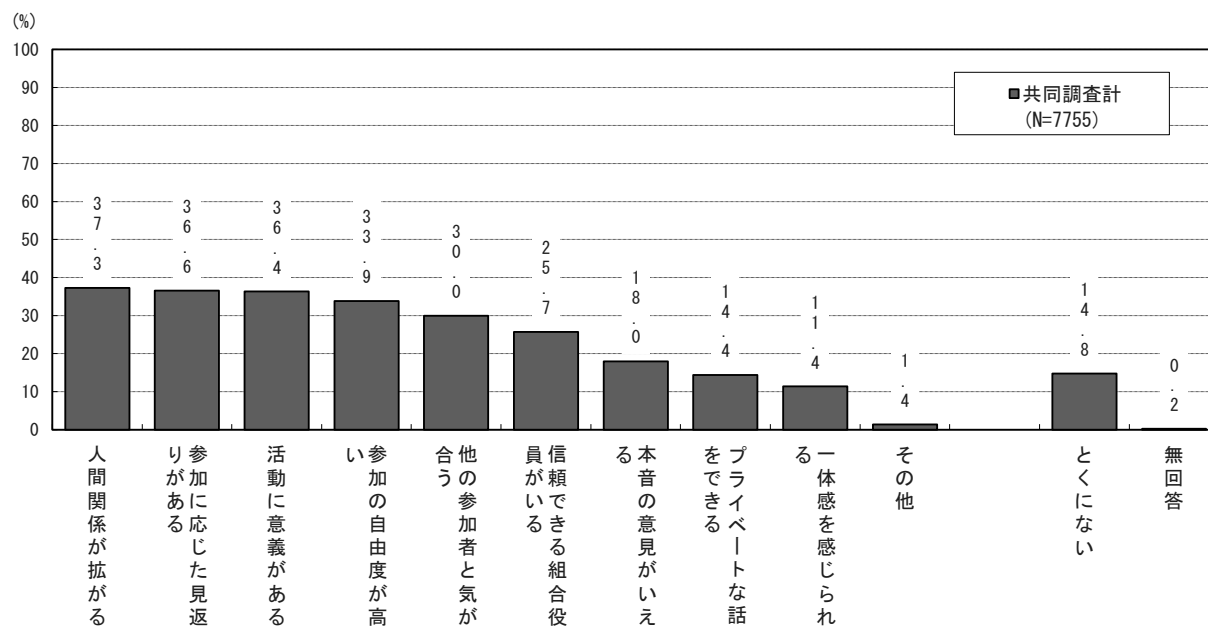
第6-2図 労働組合の活動に共感できるか



3. 労働組合に参加したくなると思う条件

労働組合の活動に参加したくなると思う条件を複数選択でたずねたところ、「人間関係が広がる」(37.3%)、「参加に応じた見返りがある」(36.6%)、「活動に意義がある」(36.4%) がそれぞれ4割近くを占め、上位にあげられている。以下、「参加の自由度が高い」(33.9%)、「他の参加者と気が合う」(30.0%)、「信頼できる組合役員がいる」(25.7%) が3割前後で続いている。一方、「プライベートな話をできる」(14.4%) や「一体感を感じられる」(11.4%) は1割強と多くない。なお、「とくにない」という回答も14.8%を占める(第6-3図)。

第6-3図 どのようなことがあれば労働組合の活動に参加したくなると思うか(複数選択)



性別による目立った違いはないが、女性は男性に比べて「プライベートな話をできる」がやや少ない。年齢別では、男女ともに「活動に意義がある」は年齢が高くなるにつれて多くなり、30歳以上では4割強を占める。また、女性の24歳以下では、「人間関係が広がる」が4割強を占め、他の層に比べてやや多くなっている（第6－2表）。

組合役員経験別にみると、経験なし層では、「とくにない」が2割と少なくない。役員経験者に比べて全体的に比率は低い「参加に応じた見返りがある」と「人間関係が広がる」が3割ずつと上位にあげられている。一方、現在役員層では、「人間関係が広がる」と「活動に意義がある」が5割台、「信頼できる組合役員がいる」が4割台半ばを占め、際立って比率が高い。他方、「参加に応じた見返りがある」については、経験なし層に比べて現在役員層、現在、職場委員、支部委員などのほうが10ポイント以上比率が高い。

第6－2表 どのようなことがあれば労働組合の活動に参加したくなると思うか（複数選択）

		合 他 の 参 加 者 と 気 が	い 参 加 の 自 由 度 が 高	人 間 関 係 が 広 がる	一 体 感 を 感 じ ら れ	本 音 の 意 見 が い え	信 頼 で き る 組 合 役 員	プ ラ イ ベ ー ト な 話 を で き る	活 動 に 意 義 が あ る	参 加 に 応 じ た 見 返 り	そ の 他	と く に な い	無 回 答	件 数
共同調査計		30.0 ⑤	33.9 ④	37.3 ①	11.4	18.0	25.7	14.4	36.4 ③	36.6 ②	1.4	14.8	0.2	7755
男性計		30.6 ⑤	33.8 ④	36.6 ①	12.5	18.7	25.8	15.7	36.6 ②	36.6 ③	1.5	14.5	0.2	5561
年 齢 別	24歳以下	31.2 ③	34.6 ②	37.7 ①	9.7	15.7	22.6	17.8	23.2 ⑤	31.1 ④	1.0	16.4	0.4	966
	25～29歳	29.9 ⑤	33.5 ④	34.9 ②	11.0	16.5	23.9	15.0	34.2 ③	38.8 ①	1.4	14.8	0.1	2155
	30歳以上	31.1 ⑤	33.8 ④	37.7 ②	15.0	21.9	28.8	15.5	43.9 ①	36.8 ③	1.6	13.6	0.2	2440
女性計		28.2 ⑤	34.1 ④	39.4 ①	8.4	15.9	25.4	10.9	35.9 ③	36.8 ②	1.3	15.2	0.2	2136
年 齢 別	24歳以下	30.4 ④	34.9 ②	43.2 ①	8.1	14.3	24.4	13.7	26.6 ⑤	34.9 ②	0.9	14.4	0.2	533
	25～29歳	27.4 ⑤	34.2 ④	39.8 ①	7.9	15.4	26.2	9.4	37.2 ②	37.0 ③	0.9	15.0	0.3	975
	30歳以上	27.5 ⑤	33.3 ④	35.7 ③	9.4	18.2	25.2	10.7	41.7 ①	38.1 ②	2.2	16.1	...	628
役 員 経 験	経験なし	24.4 ⑤	29.0 ③	30.1 ②	7.0	12.7	18.1	10.3	28.0 ④	31.7 ①	1.5	20.0	0.3	4244
	現在、本部・支部 の執行委員	44.6 ④	44.0 ⑤	56.5 ①	22.8	31.9	44.0 ⑤	24.3	51.6 ②	45.1 ③	0.9	4.5	0.1	1456
	現在、職場委員、 支部委員など	34.1 ⑤	39.0 ④	42.9 ③	14.5	20.4	30.0	17.3	44.8 ①	43.4 ②	1.4	8.7	...	1326
	過去に経験あり	25.6 ⑤	32.7 ③	31.1 ④	8.9	16.6	25.5	13.0	39.8 ①	35.7 ②	2.5	16.0	...	718

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上少ない

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上多い

15.0 「共同調査計」より15ポイント以上多い

※丸数字は比率の順位（第5位まで表示）

組合役員経験なし層に限定して、組合活動への参加・協力状況別にみたところ、署名やカンパ、ニュース、ビラなどの層に比べて、集会等に参加している層のほうが、「人間関係が広がる」や「他の参加者と気が合う」など人と人とのコミュニケーションにかかわる点をあげる割合が多い。また、集会等に参加している層のほうが、「参加の自由度が高い」の比率が高く、組合活動への参加が能動的な層と受動的な層では参加意向の背景が異なることがわかる。なお、組合活動に参加・協力していない層では「とくにない」が4割強を占め、組合との距離の遠さがうかがわれる（第6－3表）。

第6－3表 どのようなことがあれば労働組合の活動に参加したくなると思うか（複数選択）

	う他の 参加者 と気が 合う	参加 の自由 度が高 い	人間 関係が 広がる	一 体感 を感じ られる	本 音の 意見が いえる	が信 頼で きる 組合 役員	プ ラ イ ベ ー ト な 話 を	活 動に 意義 がある	が参加 に応じ た見返 り	そ の 他	と く に な い	無 回 答	件 数
経験なし計	24.4 ⑤	29.0 ③	30.1 ②	7.0	12.7	18.1	10.3	28.0 ④	31.7 ①	1.5	20.0	0.3	4244
集会、レク、ボランティア等に参加	30.5 ⑤	36.5 ②	37.3 ①	9.8	15.2	23.0	13.3	31.6 ④	34.3 ③	1.3	11.0	0.1	2522
署名やカンパ、ニュース、ビラのみ	17.4 ④	21.6 ④	21.3 ⑤	3.3	10.2	13.1	5.9	28.2 ②	32.7 ①	1.4	22.7 ③	1.2	837
参加・協力しているものはない計	13.9 ⑤	14.5 ⑤	17.9 ③	2.3	8.1	9.0	6.0	17.6 ④	23.2 ②	1.9	42.8 ①	0.2	885

5.0「経験なし計」より5ポイント以上少ない

5.0「経験なし計」より5ポイント以上多い

15.0「経験なし計」より15ポイント以上多い

※丸数字は比率の順位(第5位まで表示)

また、経験なし層について労働組合の活動への共感の度合い別にみると、共感が高い層ほど、比率の高い項目が多い一方、共感が低い層では、「とくにない」が多くなる傾向がみられる。とても共感できる層では、「人間関係が広がる」「参加の自由度が高い」「他の参加者と気が合う」などが上位にあげられており、他の層に比べて比率が高い。他方、「活動に意義がある」はまったく共感しない層を除いてあまり差がみられないほか、「参加に応じた見返りがある」については、とても共感できる層では相対的に少ない（第6－4表）。

第6－4表 どのようなことがあれば労働組合の活動に参加したくなると思うか（複数選択）

	う他の 参加者 と気が 合う	参加 の自由 度が高 い	人間 関係が 広がる	一 体感 を感じ られる	本 音の 意見が いえる	が信 頼で きる 組合 役員	プ ラ イ ベ ー ト な 話 を	活 動に 意義 がある	が参加 に応じ た見返 り	そ の 他	と く に な い	無 回 答	件 数
経験なし計	24.4 ⑤	29.0 ③	30.1 ②	7.0	12.7	18.1	10.3	28.0 ④	31.7 ①	1.5	20.0	0.3	4244
共 感 度 合 い 別													
とても共感できる	37.4 ③	37.6 ②	42.3 ①	12.7	16.2	27.2 ⑤	17.4	28.1 ④	25.8	0.9	10.7	...	551
まあまあ共感できる	24.9 ⑤	30.6 ③	31.8 ②	6.7	13.3	18.4	10.3	29.2 ④	32.4 ①	1.2	18.4	0.1	2950
あまり共感できない	14.4 ④	17.6 ④	15.6 ⑤	3.4	8.4	10.4	5.0	25.0 ③	34.7 ①	2.2	31.3 ②	0.2	585
まったく共感できない	4.4	9.5 ⑤	8.0	4.4	7.3	10.2 ④	4.4	16.8 ③	27.7 ②	5.8	43.8 ①	0.7	137

5.0「経験なし計」より5ポイント以上少ない

5.0「経験なし計」より5ポイント以上多い

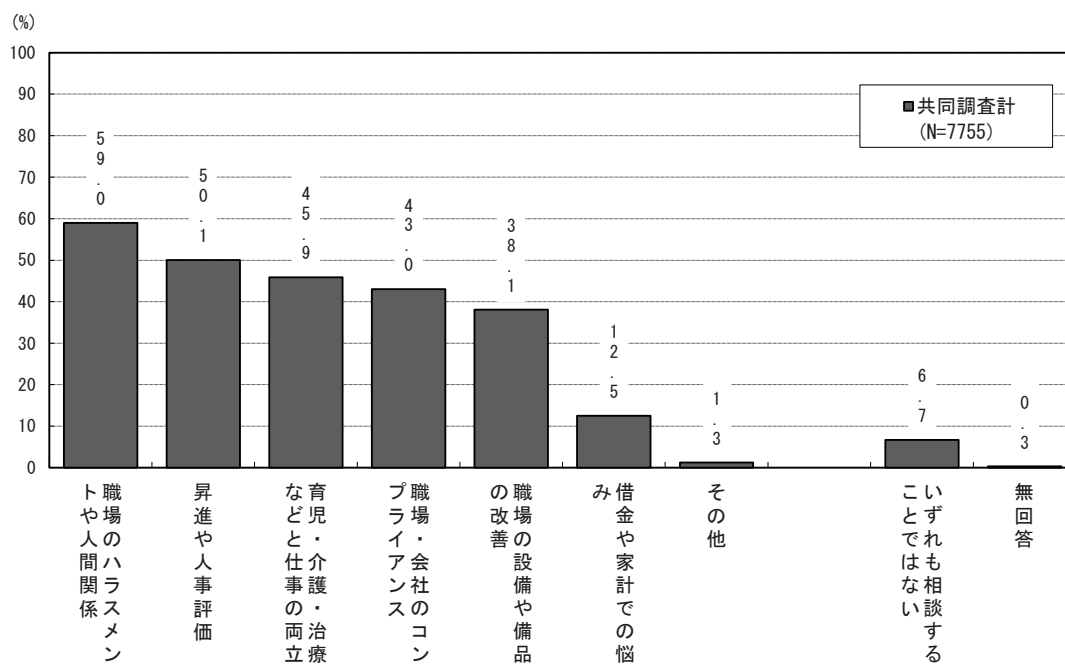
15.0「経験なし計」より15ポイント以上多い

※丸数字は比率の順位(第5位まで表示)

4. 労働組合が対応すべき相談

仕事や生活に関する困りごとのなかで労働組合が対応すべき相談（複数選択）をみると、「職場のハラスメントや人間関係」（59.0％）が6割を占め、最も多い。以下、「昇進や人事評価」（50.1％）が5割、「育児・介護・治療などと仕事の両立」（45.9％）、「職場・会社のコンプライアンス」（43.0％）が4割台で続いている。一方、「借金や家計での悩み」（12.5％）は1割強と少ない。なお、「いずれも相談することではない」は6.7％にとどまっている（第6－4図）。

第6－4図 仕事や生活に関する困りごとのなかで労働組合が対応すべき相談（複数選択）



性別でみると、女性で「育児・介護・治療などと仕事の両立」が55.8%と過半数を占め、男性を大きく上回る。また、この割合は年齢が高くなるにつれて多くなり、女性30歳以上では6割強を占める。同割合は、男性についても30歳以上で5割近くを占め、29歳以下に比べて多い。そのほか、「職場のハラスメントや人間関係」「職場・会社のコンプライアンス」についても、男女ともに年齢の上昇に伴い多くなる傾向がみられる（第6-5表）。

組合役員経験別にみると、いずれも「職場のハラスメントや人間関係」が最も多く、現在役員層では7割強に及んでいる。

第6-5表 仕事や生活に関する困りごとのなかで労働組合が対応すべき相談（複数選択）

		昇進や人事評価	職場の人間関係	職場のハラスメント	職場・会社のコンプライアンス	職場の設備や備品の改善	育児・介護・治療などと仕事の両立	借金や家計での悩み	その他	いずれも相談することではない	無回答	件数
共同調査計		50.1 ②	59.0 ①	43.0 ④	38.1	45.9 ③	12.5	1.3	6.7	0.3	7755	
男性計		51.0 ②	57.9 ①	43.0 ③	38.6	42.1 ④	13.8	1.3	6.9	0.4	5561	
年齢別	24歳以下	47.9 ②	52.5 ①	32.8 ③	31.3 ④	29.1	12.2	1.1	11.4	0.5	966	
	25～29歳	53.4 ②	54.4 ①	40.7 ④	39.9	41.2 ③	13.2	1.2	6.7	0.4	2155	
	30歳以上	50.1 ②	63.2 ①	49.1 ③	40.3	48.1 ④	15.1	1.6	5.2	0.3	2440	
女性計		47.8 ③	61.8 ①	43.0 ④	36.8	55.8 ②	9.2	1.0	6.1	0.2	2136	
年齢別	24歳以下	45.4 ③	57.8 ①	35.5 ④	31.5	46.0 ②	8.6	0.2	8.4	0.2	533	
	25～29歳	47.8 ③	61.8 ①	42.6 ④	37.3	56.0 ②	9.2	1.3	5.2	0.3	975	
	30歳以上	49.8 ④	65.0 ①	50.0 ③	40.4	63.9 ②	9.6	1.3	5.6	...	628	
役員経験	経験なし	47.5 ②	53.3 ①	36.9 ④	33.2	39.7 ③	9.4	1.1	9.2	0.4	4244	
	現在、本部・支部の執行委員	54.0 ④	74.1 ①	57.2 ②	46.8	56.5 ③	20.6	1.3	2.1	0.3	1456	
	現在、職場委員、支部委員など	50.4 ③	58.7 ①	45.2 ④	42.5	52.8 ②	14.6	1.4	4.8	0.2	1326	
	過去に経験あり	56.5 ②	63.2 ①	46.8 ④	41.5	48.7 ③	10.7	1.8	5.2	...	718	

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上少ない

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上多い

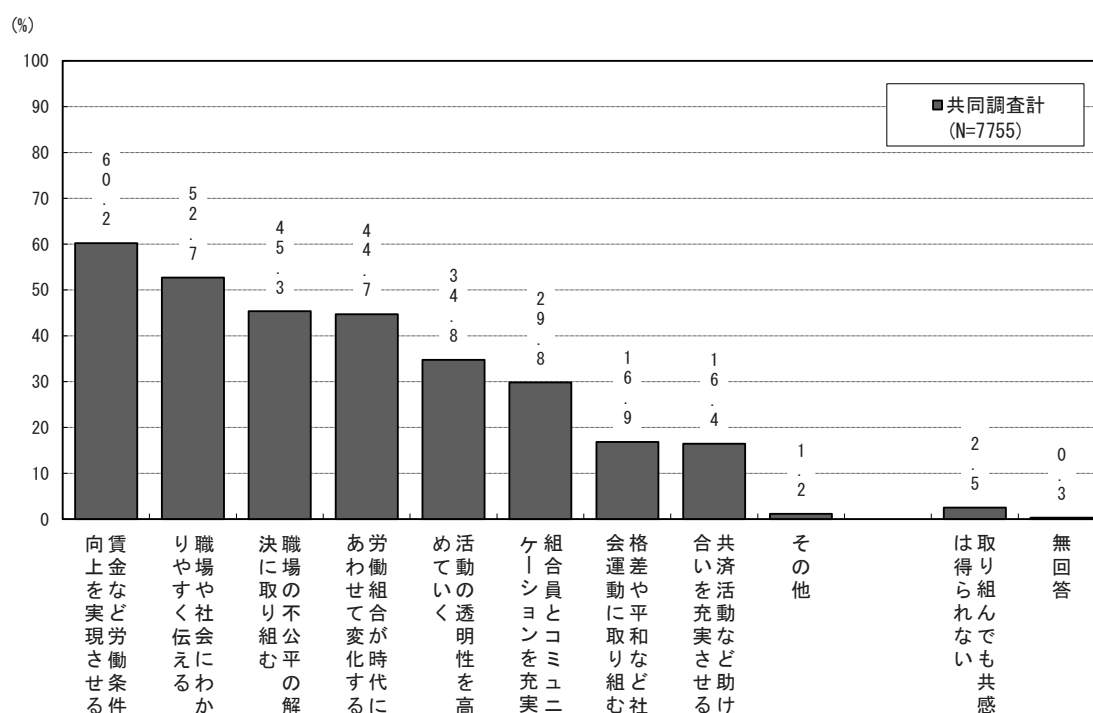
15.0 「共同調査計」より15ポイント以上多い

※丸数字は比率の順位（第4位まで表示）

5. 労働組合が強化すべき取り組み

労働組合が共感を得られる組織となるために強めるべき取り組み（複数選択）についてみると、「取り組んでも共感を得られない」（2.5％）はごくわずかにとどまり、「賃金をはじめとした労働条件の向上を実現させること」（60.2％）が6割を占め、最も多い。以下、「職場、社会によりわかりやすく活動を伝えていくこと」（52.7％）が5割強、「職場の不公平の解決に向けて取り組むこと」（45.3％）と「労働組合が時代にあわせて変化すること」（44.7％）が4割台、「活動の透明性を高めていくこと」（34.8％）、「組合員とのコミュニケーションを充実させること」（29.8％）が3割前後を占める。一方で、「格差是正や平和など社会運動に取り組むこと」（16.9％）や「共済活動などの組合員の助け合いを充実させること」（16.4％）は1割台と相対的に少ない（第6－5図）。

第6－5図 労働組合が共感を得られる組織となるために強めるべき取り組み（複数選択）



性別では目立った違いはみられない（第6－6表）。

年齢別にみると、男女ともにいずれの年齢層でも「賃金など労働条件向上を実現させる」が上位にあるが、「職場の不公平の解決に取り組む」や「労働組合が時代にあわせて変化する」などとともに、年齢層が高い層ほど比率が高くなる傾向がみられる。これらの取り組みについては、男女ともに30歳以上では5割前後に及んでいる。

組合役員経験別にみると、経験なし層では「賃金など労働条件向上を実現させる」が最多だが、現在、本部・支部の執行委員では「職場や社会にわかりやすく伝える」が7割近くと最も多く、また、「組合員とコミュニケーションを充実」が5割を占め、他の層を大きく上回っている。

第6－6表 労働組合が共感を得られる組織となるために強めるべき取り組み（複数選択）

		り職 場や すく 社会 にわ かる	決 場 に取 り組 むの 解	会 運 動に 取り 組む	格差 や平 等な 社会	め活 動の 透明 性を 高	あ わ せ て 変 化 す る	合 共 済 活 動 な ど 助 け	共 済 活 動 な ど 助 け	ケ ー シ ョ ン を 充 実	組 合 員 と コ ミ ュ ニ テ ィ を 充 実	向 上 を 実 現 さ せ る	賃 金 な ど 労 働 条 件	そ の 他	は 取 り 組 ん で も 共 感	無 回 答	件 数
共同調査計		52.7 ②	45.3 ③	16.9	34.8 ⑤	44.7 ④	16.4	29.8	60.2 ①	1.2	2.5	0.3	7755				
年 齢 別	男性計	52.1 ②	45.4 ③	17.4	34.7 ⑤	44.2 ④	16.7	30.4	60.7 ①	1.2	2.7	0.3	5561				
	24歳以下	51.8 ②	37.7 ③	15.4	24.1 ⑤	31.6 ④	12.7	27.1 ⑤	53.8 ①	0.7	3.8	0.5	966				
	25～29歳	51.2 ②	44.2 ③	17.4	33.6 ⑤	40.8 ④	16.1	27.1	59.9 ①	1.2	2.8	0.3	2155				
	30歳以上	53.1 ②	49.6 ④	18.3	39.8 ⑤	52.2 ③	18.7	34.7	64.1 ①	1.4	2.0	0.2	2440				
女性計		54.6 ②	45.1 ④	15.1	35.2 ⑤	46.3 ③	15.8	28.4	59.5 ①	1.1	1.8	0.3	2136				
年 齢 別	24歳以下	55.2 ①	41.1 ③	12.8	28.0 ⑤	37.0 ④	13.1	27.6	52.3 ②	0.9	1.9	0.2	533				
	25～29歳	53.5 ②	43.2 ④	15.8	33.8 ⑤	47.1 ③	16.5	29.0	60.1 ①	1.0	2.1	0.4	975				
	30歳以上	55.7 ②	51.6 ④	16.1	43.5 ⑤	52.9 ③	16.9	28.0	64.6 ①	1.3	1.4	0.2	628				
役 員 経 験	経験なし	47.4 ②	41.3 ③	14.0	28.7 ⑤	37.1 ④	12.2	20.9	57.0 ①	1.0	3.1	0.5	4244				
	現在、本部・支部 の執行委員	66.3 ①	54.3 ④	24.3	46.4 ⑤	59.5 ③	28.2	49.2 ⑤	65.3 ②	1.5	1.3	0.1	1456				
	現在、職場委員、 支部委員など	55.4 ②	48.7 ④	18.2	40.1 ⑤	49.3 ③	18.3	36.7 ③	63.1 ①	1.4	1.9	...	1326				
	過去に経験あり	50.6 ③	45.0 ④	16.3	37.2 ⑤	51.4 ②	14.2	30.1	63.5 ①	1.0	2.9	...	718				

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上少ない

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上多い

15.0 「共同調査計」より15ポイント以上多い

※丸数字は比率の順位（第5位まで表示）

第6-6図は、組合役員経験なし層について、労働組合に参加したくなると思う活動について「参加に応じた見返りがある」のみを選択した人と「参加に応じた見返りがある」を選択しなかった層についてみたものである。

これを見ると、「参加に応じた見返りがある」のみを選択した層では、「賃金など労働条件向上を実現させる」が71.4%と多数を占め、選択しなかった層を大きく上回る。一方、「参加に応じた見返りがある」を選択しなかった層では、「職場や社会にわかりやすく伝える」が51.4%と最も多いことに加え、「職場の不公平の解決に取り組む」「組合員とコミュニケーションを充実」などでも「参加に応じた見返りがある」のみを選択した層を10ポイント以上上回る。以上から労働組合による賃金など労働条件の向上を“見返り”として捉える組合員も一定割合を占めていることがうかがわれる。

第6-6図 労働組合が共感を得られる組織となるために強めるべき取り組み（経験なし層、複数選択）

